沖縄県神道青年会会報　神青おきなわ
奉祝天皇陛下 御即位記念号

令和

雅楽同好会　蘭陵王奉仕　舞：古波鮫真子会員
（10 月 17 日波上宮奉賛会秋大祭　写真提供　神宮会館）

会長挨拶

沖縄県神道青年会
会長　石底直樹

この度の天皇陛下御即位に謹んで皆様と共にお慶び申し上げます。去る四月三十日退位礼正殿の儀、翌五月一日剣璽等承継の儀からはじまり、即位礼正殿の儀、一代一度の重儀大嘗祭と御大礼に関わる諸儀式が恙なく斎行されましたこと慶賀に存じ上げます。

上皇陛下におかせられましては、昨年三月、天皇として最後の沖縄県行幸啓を賜りました。沿道には約三万人の沖縄県民が集い国旗を振り、また「提灯大パレード」、「提灯奉迎の集い」には約五千名の方々が参加し陛下へのお気持ちを表され、陛下も宿泊先の窓からお応え下さいました。平成三十一年年頭には、「あまたなる人ら集ひてちやうちんを共にふりあふ沖縄の夜」と御製を賜り、常に沖縄に対し温かいお気持ちをお寄せ頂いており、一県民と致しましても幸甚に存じ上げます。

その上皇陛下の大御心を継承された天皇陛下は、浩宮殿下時代に昭和天皇の御名代として一度、皇太子殿下時代には四度、また平成九年七月には初めて皇太子同妃両殿下でのご来県を賜りました。

今回は江戸時代後期の光格天皇以来約二百年ぶりの御譲位とのことでございます。平成の御代替りの際、私はまだ幼く記憶は殆どなく、先輩方からは「社会的にも自粛ムードであり、今回の御代替りとは雰囲気が全然違う」と伺っておりますが、テレビや新聞報道などでもわかるように、今回の御譲位は国、国民を挙げての祝賀ムードがあり大変な盛り上がりをみせております。この歴史的な御譲位の時に皇室との深い関りのある斯界に奉職できたこと、また会長職を仰せつかっていることをとても嬉しく感じております。

今年は皇紀二六七九年、世界に類を見ない長い歴史を持つこの国に生まれたことを考えると、日本人として、神職として、今一度襟を正し、世の為人の為、神明奉仕に務めていくことを決意致しまして、奉祝天皇陛下御即位記念号発刊のご挨拶とさせていただきます。

沖縄県神道青年会会員名簿（令和元年 12 月現在）

	氏　名	奉仕神社	沖縄神青入会年度
会　長	石底　直樹	普天満宮	平成二十二年
事務局長	崎山　喜理	波上宮	平成二十七年
	平良　真吾	普天満宮	平成十六年
	前原　万岐	沖縄県護国神社	平成二十年
	高良　奈緒矢	沖縄県護国神社	平成二十二年
	奥原　隆良	波上宮	平成二十二年
	松元　孝太	沖縄県護国神社	平成二十三年
	古波鮫　真子	波上宮	平成二十九年
	佐藤　越郎	波上宮	平成三十年

○神社ゆいメール

沖縄県神道青年会では、毎月一回程度、県内各社の祭典情報をEメールで配信しています。詳しくは沖縄県神道青年会ホームページをご覧ください。
http://shinsei.okinawa

○令和二年前半の予定

・日本の建国を奉祝する県民の集い
二月十一日　パシフィックホテル沖縄
日本会議沖縄県本部
雅楽同好会がオープニングで演奏予定

・天皇陛下御即位奉祝式典
二月二十四日　国立劇場おきなわ
天皇陛下御即位奉祝沖縄県実行委員会
蘭陵王（舞楽と演奏）

・他、新年会、総会、神田祭など

忘年会（11 月 20 日）

令和幟立て（5 月 1 日午前 0 時波上宮）日本会議と

編集後記

「令和になる瞬間に幟を立てなさい」という宮司の命により、五月一日午前零時に、境内に令和の幟を立てました。令和になる瞬間にお参りしようと、一般の方々も多く御参拝されていて、テンションが上がった令和の始まりでした。

今年は雅楽同好会で蘭陵王の演奏ができました。同好会は一般の方々も参加しており、特に渡嘉敷憲一郎氏、宮城武志氏、古波鮫会員と私で練習を重ねての演奏でしたので、この演奏が一番印象深かったです。

また沖縄県内の事件としましては、首里城焼失が一番の衝撃でした。末吉宮から首里城を見て、「本当に正殿が無くなっている・・・」と実感した次第です。

約六年ぶりの会報です。特に全国の神道青年会の皆様に「沖縄にも少ないながら同志がいて、ゆるりとやっております」ということをお伝えできればと思います。これからも沖縄県神道青年会をよろしくお願いいたします。（奥原）

神青おきなわ
通算第十一号　奉祝天皇陛下御即位記念号
発行者　沖縄県神道青年会
編集者　奥原隆良
発行所　那覇市若狭一―二十五―十一波上宮内
TEL ○九八―八六八―三六九七
FAX ○九八―八六八―四二一九
表紙「令和」大山晋吾（波上宮禰宜）

沖縄県神道青年会活動報告

平成三十一年
一月三十日　播種祭　うるま市田場
二月七日　禊・鎮魂行法　北方領土返還祈願祭　新年会
二月十八日　山口県神道青年会慰霊祭参列・懇親会参加
三月三日　御田植祭　うるま市田場
三月五日　臨時総会　波上宮
三月八日　平成御大典写真パネル展　普天満宮（三日間）
四月十一日　宮崎県神道青年会懇親会参加
四月十四日　天皇陛下御在位三十年奉祝式典（天皇陛下御在位三十年奉祝委員会）国立劇場おきなわ
四月二十六日　沖縄県神道青年会　総会
令和元年
六月十九日　千葉県神道青年会　慰霊祭参列・懇親会参加
六月十九日　波上宮参集殿にて箏講習会（福岡県神社庁長屋祭式講師）四名参加
七月六日　㈶國學院大學院友会公開講演「御代替わりの諸祭儀」雅楽演奏 パシフィックホテル沖縄
七月七日　抜穂祭　うるま市田場
九月十七日　バーベキュー　波の上エスパーナ
九月二十五日　沖縄県神社庁神宮大麻頒布始奉告祭　雅楽奉仕
十月三日　ＦＭ沖縄　雅楽同好会取材　波上宮（古波鮫真子会員他、即位礼当日祭の日に放送）
十一月二十日　忘年会

播種祭・御田植祭・抜穂祭

平成三十一年一月三十日、沖縄県うるま市田場の神田で播種祭が執り行われ、沖縄県神道青年会石底会長、高良会員が奉仕し、識名宮田港獺宣、識名宮注連会が参列・奉仕いたしました。

三月三日御田植祭は石底会長と松元会員が奉仕。識名宮注連会が参加いたしました。

令和元年七月七日、抜穂祭が執り行われ、石底会長、佐藤会員が奉仕。普天満宮新垣宮司、識名宮注連会が参列・奉仕いたしました。

稲穂は神社庁を通して神宮へ奉納されました。また、精米されたお米は沖縄県内各神社の大嘗祭当日祭などでお供えされました。

播種祭（2 月 30 日）

禊・鎮魂行法　北方領土返還祈願祭

平成三十一年二月七日、第五代会長 田港朝光道彦の先導のもと、波の上ビーチで禊が行われました。続いて、波上宮拝殿において鎮魂行法と北方領土返還祈願祭が執り行われました。

禊（2 月 7 日　波の上ビーチ）

沖縄県神道青年会　総会

平成三十一年四月二十六日、総会が行われました。新たに二人が加わり、承認されました。（※途中退会あり。現在の会員については最終頁の「沖縄県神道青年会会員名簿」をご覧ください。）

○雅楽同好会活動報告

天皇陛下御在位三十年奉祝式典

四月十四日 国立劇場おきなわにて、天皇陛下御在位三十周年奉祝式典が開催されました。（天皇陛下御在位三十年奉祝式典実行委員会主催）沖縄県神道青年会雅楽同好会は越殿楽、浦安の舞を奉奏いたしました。（舞：普天満宮 新垣ナオ巫女・瀬川祥美巫女）

天皇陛下御在位三十年奉祝式典

講演　御代替わりの諸祭儀

令和元年七月六日㈶國學院大學院友会主催の公開講演「御代替わりの諸祭儀（講師：沖縄県神社庁 渡慶次馨 庁長）」がパシフィックホテル沖縄にて開催されました。講演会オープニングで雅楽同好会が演奏いたしました。

公開講演「御代替わりの諸祭儀」OP

ＦＭ沖縄取材風景（波上宮）

ＦＭ沖縄「Ｆｉｎｅ」出演

即位礼当日祭の朝、エフエム沖縄の番組「Ｆｉｎｅ」にて雅楽についての特集が組まれ、雅楽同好会が出演しました。同好会の演奏と、古波鮫真子会員の雅楽についての解説が放送されました。

県内各社にて奉仕

波上宮奉賛会秋大祭では蘭陵王奉仕（三管三鼓と舞）、沖縄県護国神社秋季例大祭と普天満宮例大祭では三管で奏楽奉仕いたしました。

波上宮奉賛会秋大祭 (10 月 17 日)

沖縄県護国神社秋季例大祭（10 月 23 日）

○県外神道青年会との交流

2 月 18 日山口県神道青年会主催の慰霊祭へ参列・懇親会へ参加しました。

（6 月 19 日）

千葉県神道青年会主催の慰霊祭に参列・懇親会に参加しました。